

## カキの分布上面高度の相対値（暫定値）

産業技術総合研究所では、7月17日より緊急の現地調査を開始した。調査内容は、主として海岸部の隆起沈降等の地殻変動の調査、および地盤の液状化等による被害の調査である。

これまでに、海岸の護岸に付着するカキの分布高度から、震源に近い柏崎市椎谷漁港で、北方の長岡市寺泊地区と比較して約25cm程度隆起している可能性が認められた。潮位等の補正はまだ十分ではないが、暫定的な計測結果は図に示すとおりである。

